

# 令和5年度第2回埼玉県さいたま地域医療構想調整会議 議事概要

開催日時：令和5年8月24日（木）19:00～20:35

開催方法：オンライン（Zoom）開催

## 1 出席者

別紙参加者名簿のとおり

傍聴者 11名

## 2 議事

### （1）令和5年度地域医療構想調整会議の開催スケジュールについて

【保健医療政策課が資料 1-1～1-3 を使って、今年度の開催予定、第1回会議の結果、埼玉県地域医療構想推進会議での主な意見について説明】

【質疑・意見等】

○百村委員

第1回調整会議の結果報告の中で、紹介受診重点医療機関の参考水準である紹介率・逆紹介率が、さいたま市民医療センターが非常に低いとの意見があったが、これはサポートセンターに確認した算出方法によって出したものであり、地域医療支援病院の算出方法より低い数値となる。地域医療支援病院の計算式では、分母の初診患者数から救急車の初診数と休日夜間の初診患者数を引くので、それで算出すると、紹介率は87.3%、逆紹介率は89%になる。

●保健医療政策課

紹介率・逆紹介率の算出方法については、地域医療支援病院における算出方法に準じるとなっている。厚生労働省から通知が出されているが、制度初年度ということで混乱を来した部分がある。県としても、県の外来機能報告のホームページで、紹介率・逆紹介率の算出方法等を掲載して周知に努めて参りたい。

【今年度の開催予定について了承】

### （2）令和3年度病床機能報告定量基準分析結果について

【保健医療政策課が資料 2-1～2-3・参考資料1 を使って、定量基準分析結果について説明】

【質疑・意見等】

特になし

【定量基準分析結果について了承】

### （3）医療機関対応方針の協議・検証について

ア 公立病院経営強化プランについて（さいたま市立病院）

【保健医療政策課が資料 3-1～3-3 を使って、医療機関対応方針の地域医療構想調整会議における検討状況、医療機関対応方針一覧について説明】

【さいたま市立病院が資料 3-4 を使って、経営強化プラン骨子案について説明】

【質疑・意見等】

特になし

【さいたま市立病院経営強化プラン骨子案について了承】

#### イ 公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療機能推進機構さいたま北部医療センター）

【さいたま北部医療センターが資料 3-5 を使って、公的医療機関等 2025 プランについて説明】

【質疑・意見等】

特になし

【さいたま北部医療センター公的医療機関等 2025 プランについて了承】

【再検証対象とされていた、さいたま北部医療センターの対応方針については、「さいたま北部医療センター公的医療機関等 2025 プラン」の内容で合意】

#### ウ 病床機能転換について（西部総合病院）

【医療整備課が資料 3-6 を使って、病床機能転換促進事業費補助金について説明】

【西部総合病院が資料 3-7～3-8 を使って、病床機能転換事業計画について説明】

【質疑・意見等】

特になし

【西部総合病院病床機能転換事業計画について了承】

#### （4）紹介受診重点医療機関に係る協議について

【保健医療政策課が資料 4-1～4-2・参考資料 3-1～3-2 を使って、紹介受診重点医療機関に関する基準と意向の合致状況、基準と意向が合致しない医療機関に係る協議について説明】

【質疑・意見等】

特になし

【紹介受診重点外来の基準を満たしているが紹介受診重点医療機関となる意向を有さない医療機関について、紹介受診重点医療機関としての公表を行わないことについて了承】

#### （5）医師の働き方改革に係る特例水準について

【医療人材課が資料 5 を使って、特例水準申請医療機関の指定スケジュール等について説明】

【質疑・意見等】

○百村委員

申請する施設は、日本医師会の評価センターで一応の承認を得た上で県に申請を出していると思うが、来年 3 月までに承認となっているが、基本的に承認されるという解釈でよろしいのか。

●医療人材課

当会議や医療審議会、地域医療対策協議会にお諮りして意見を聞いた上で、承認手続きを進める。

【特例水準申請医療機関の指定スケジュール等について了承】

(6) 感染症予防計画について（報告）

【感染症対策課が資料6を使って、改正感染症法への対応について説明】

【質疑・意見等】

特になし

(7) 病院整備計画の公募、病床整備の進捗状況について（報告）

【医療整備課が資料7-1～7-2を使って、今年度の病院整備計画の公募、病床整備の進捗状況について説明】

【順天堂大学が資料7-3を使って、順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）の病床整備の進捗状況について説明】

【質疑・意見等】

○遠藤委員

医療スタッフはどのように充実させる計画か。

●順天堂大学

人員計画については、看護師であれば看護部や再編事務局、また医師については医学部長、学長、そちらが対応しているので、私から具体的には申し上げられない。

○清田委員

救命救急機能という話があったが、災害対応については検討されていないのか。救急だけではなくて病院の機能維持、BCP的な災害対応、或いは災害拠点病院として地域を支えるというような機能は、やはり設計要件が変わってくるかと思うが。

●順天堂大学

災害対応もできるよう、現在法人内でそういった経験のある医師を中心とした救急の整備計画を行っている段階。順天堂医院はJCI認証を3回受けているが、その対応に準じた形で病院の災害対応整備を行う。

○清田委員

綾瀬川はハザード的にはいかがなのか。

●順天堂大学

ハザードマップを見ていただくとわかるが、キャンパスの周辺は危険が最も少ない地域というふうに提示されている。

その他

●齊藤地域医療構想アドバイザー

・一昨日は秩父の地域医療構想調整会議に参加したが、地域によっていろいろ違うということを感じた。秩父は、病院数が少なかったり、機能も少し足りないようなところもあるが、とにかく連携がよく取れている。保健所が行ったアンケート

ト調査で、各々の病院が今後どう考えるのか、他の病院に何を求めるのかを明らかにしており、とても素晴らしいと思った。

・地域医療構想は2025年を目指しているが、あと2年であり、今からもう2040年をある程度念頭に置きながら考えていく必要がある。

・病床4機能には、急性期といえども実際には回復期の方が入っていたり、回復期の中でも急性期の人がいたり、そういう重なるの部分もあるので、その辺を考慮しながら今後のベッド数を考えていく必要がある。

・公募で承認を受け、ハードは整っているが、人がいないため開けない病院が現状としてある。特に看護のスタッフが不足していることに関しては、どこでも皆苦労されている。

・光熱費がこれだけ上がり、コロナの間は何とか補助があったので運営できていたが、その後なかなか以前の状況に戻らない、そういう医療機関も多く、大変厳しい状況が続いている。増床や新たな病院を作るということも、そんなに簡単な状況ではないのかなというふうに思う。

・川越比企圏域では、川越と比企とでは実際の医療圏が違うので、川越、比企、坂戸鶴ヶ島と3地域に分けて部会を開いた後、全体会にその話を持っていくというスタイルを始めている。そんな中で、実際に川越の病院は西部圏域や南西部圏域の医療機関との連携が結構密にあり、そちらとの話し合いというか調整も必要と考え、今、南西部の先生方ともお話が少しずつ始まっている。

### 3 会議後の質疑・意見等

#### 順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）に関して

##### ○清田委員

① 埼玉県として2台目のドクターヘリを順天堂大学医学部附属埼玉国際先進医療センター（仮称）で運行する予定を考えているのか。

現行の川越での1台では支障が実際としてあるのかどうかの議論はされているのか。

② 人材確保について、何らかのコメントを法人として出すべきではないか。

医師については全国から公募すると「県総合医局機構運営協議会」で説明したと報道されている。既に県の会議で説明した内容にも触れないのは不誠実と思われる。

##### ●埼玉県保健医療政策課

① 県から大学に対し、ドクターヘリの配備について要請したことは無い。

ドクターヘリの配備については、例えば地域保健医療計画推進協議会救急医療部会での協議なども踏まえたうえで、県全体の救急医療として議論がなされるものと考ええる。

② 人材確保に係るご意見についても承知した。その旨、大学に伝えて参りたい。